



図1. 京都府産ショウリヨウヒゲブトハネカクシ.

(黒田悠三 624-0851 舞鶴市大内野町 47-3)

#### 【短報】茨城県常陸太田市で採集されたヨコミゾドロムシ無翅型の記録

ヨコミゾドロムシ *Leptelmis gracilis* Sharp は本州～九州の湧水のある池や川で確認されており（佐藤・吉富, 2018）、環境省レッドリスト（環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, 2018）においては絶滅危惧Ⅱ類（VU）に選定されている。関東地方において本種の記録があるのは栃木県、埼玉県、東京都の3都県であり（Hayashi & Yoshitomi, 2014；大桃・高橋, 2007）、茨城県からの記録はない（大桃, 2017）。筆者らは茨城県常陸太田市において本種を採集したので本県初記録として以下に報告する。

2 exs., 茨城県常陸太田市藤田久慈川水系山田川, 8. X. 2018, 山崎採集・保管（図1）；3 exs., 同地, 21. X. 2018, 大森採集・保管。

本種を確認したのは本県北部の久慈川水系山田川で、河川の中洲に繁茂している抽水植物の根際で採集した。採集された個体は形態的特徴から Hayashi & Yoshitomi (2014) により報告されている無翅型に該当し、長翅型の個体は採集されなかった。

末筆ながら、本報告を執筆するにあたり種々をご教示いただいた疋田直之氏にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

#### 引用文献

Hayashi, M. & H. Yoshitomi, 2014. Taxonomic treatments of two Japanese elm mid beetles, *Stenelmis vulgaris* Nomura and *Leptelmis gracilis* Sharp (Coleoptera: Elmidae), with descriptions of their larvae. Japanese Journal of systematic



図1. 茨城県産ヨコミゾドロムシ無翅型.

Entomology, 20 (2) : 235-244.  
環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, 2018. 環境省レッドリスト 2018 の公表について. (2018年10月21日参照) <https://www.env.go.jp/press/105504.html>  
大桃定洋, 2017. 茨城県のヒメドロムシ類. ゐりぼし, (46) : 30-37.  
大桃定洋・高橋敬一, 2007. ホソヨコミゾドロムシを栃木県宇都宮市で採集. 月刊むし, (442) : 6.  
佐藤正孝・吉富博之, 2018. コウチュウ目（鞘翅目）Coleoptera, pp. 707-790, 川合禎次・谷田一三編, 日本産水生昆虫一科・属・種への検索 第二版. 東海大学出版部.

(山崎和哉 314-0011 鹿嶋市港ヶ丘 1-1-47  
メゾン・ド・プラシード A103)  
(大森健策 311-2402 潮来市大生 1375  
茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター)

#### 【短報】セマルガムシの卵嚢への塗糞行動

ガムシ科 Hydrophilidae の雌は産卵時、尾端から繊維状物質を出して卵嚢を形成する。水生ガムシ類では、卵嚢に畦畔植物の葉を巻きつけて利用するものから落ち葉や石の表面にシート状の卵嚢を形成するものなどが知られている（渡辺, 1982）。筆者は2016年6月22日22時頃、つくば市内の水田においてセマルガムシ *Coelostoma stultum* (Walker, 1858) の産卵行動を観察していたところ、卵嚢を作り終えた雌が自身の卵嚢の上にフンを塗り広げる行動を確認した。近傍には他個体を作ったものと思われる卵嚢がいくつか存在し、それらすべてにフンが塗られていたことから、この行動は本種の産卵習性であると考えられる。セマルガムシの属するガムシ科ハバビロガムシ亜科 Sphaeridiinae はほとんどが陸生であるが、セマルガムシ属 *Coelostoma* は水生である。陸生種である